

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~1日	3月 ~8日	3月 ~15日	3月 ~22日	3月 ~29日	4月 ~5日	4月 ~12日	4月 ~19日	4月 ~26日	5月 ~3日	5月 ~10日	5月 ~17日	5月 ~24日	5月 ~31日	6月 ~7日	6月 ~14日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	6	8	13	11	17	10	19	13	12	13	12	11	33	23	36 (37)	48
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	9	5	9	9	7	6	12	6	6	1	5	7	3	8	12 (13)	18
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	1	0	0	0	1	2	2	0	0	1	0	3	1	5	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	2	4	3	1	1	1	0	2	0	3	0	2	2	2	2	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	4	1	6	2	4	3	2	2	1	5	2	4	1	2	3	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	3	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第24週(6月8日~6月14日)

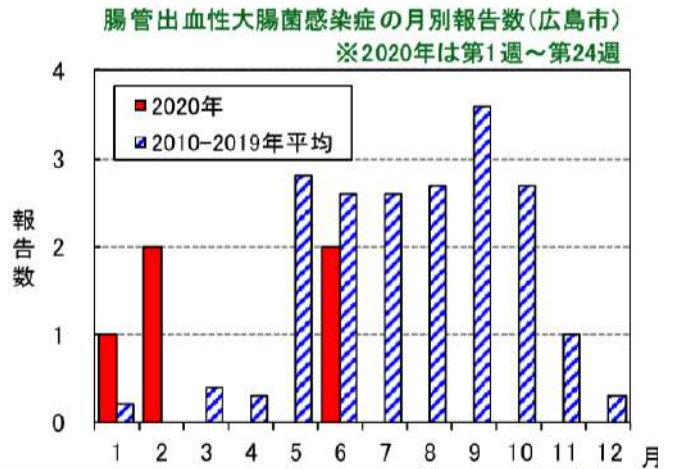
2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11		1	1		8		1
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					2		1
四類	7	重症熱性血小板減少症候群	1						1	
		日本紅斑熱	4			2				2
		レジオネラ症	2	1				1		
五類全数	5	侵襲性肺炎球菌感染症	3			1		1		1
		水痘(入院例)	1				1			
		梅毒	1		1					
指定	0	新型コロナウイルス感染症	0							

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. 新型コロナウイルス感染症
 5月4日以降、広島市では新たな患者の発生は報告されていません。
 引き続き、健康管理に注意し、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い、「3密」を避けるなど感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。
2. 腸管出血性大腸菌感染症
 2件の報告があり、今年の累計は5件となりました。
 例年5月から10月にかけて報告数が多くなっていますので、肉等の食品の十分な加熱、食材・調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行など、感染予防対策を徹底しましょう。



* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.02			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.44		
	咽頭結核熱	7	0.29	0.96				RSウイルス感染症	-	-	0.20		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	3.20				急性出血性結膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	58	2.42	5.97				流行性角結膜炎	2	0.25	0.87		
	水痘	4	0.17	0.57				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	-	-	3.10				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.33				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29		
	突発性発しん	9	0.38	0.45				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
ヘルパンギーナ	-	-	1.27			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.17				

急増減 ↑ (赤) 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) 前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減

微増減 ↘ (白) 前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	8	65	女性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・推定感染地域: 国外・1人、男性(40歳代)・1人、女性(70歳代)・2人、男性(80歳代)・2人、男性(90歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	5	男性(10歳代)・O111、女性(10歳代)・O血清群不明
4	レジオネラ症	1	6	男性(40歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	女性(10歳未満)